

	号外	定価1部2円	会計年度課題を含め納得回答に程遠い。来たる総務部長交渉で前進回答実現に向け確定闘争を闘い抜こう。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2021確定闘争⑥ ヤマ場 10.28県職労・人事課長交渉

表面的な改善姿勢示すも… 納得回答程遠く

勤務意欲確保 勤勉『コロナ枠』新設・更なる勤務意欲策を
 人員 実態踏まえた配置を/超勤補正増額・必要配分を
 二会計年度任用職員の一部金引き下げ断固反対・再考求める二

10月28日、県職労は2021確定期ヤマ場となる加藤人事課長との2度目の交渉を行った。県職労独自課題の交渉結果は次のとおり（賃金、休暇制度等の地公共闘共通課題は10月28日付け赤枠号外第2608号を参照）。



改善回答を求める県職労交渉団

【交渉結果】①一時金は、引下げ姿勢を譲らない一方で、「コロナ対策に中心的役割を担った職員に配慮し、一般枠に加え 12月期に勤勉手当の上位区分（コロナ枠）を設定」とした。専門職（保健師等）に加え、後方支援している事務職などへの適切な配分はもとより、一時金引下げに伴う一層の勤務意欲策を求めた。



回答する加藤人事課長

②会計年度任用職員課題は、期末手当引下げ姿勢に固執したことから、会計年度任用職員の低賃金の実態を強く訴え当局に再考を求め、当局は総務部長交渉時に検討結果を示すとした。

③人員課題は「あらゆる方策で人員確保に努める」・「会計年度任用職員数は、一般行政経費分は必要人数を踏まえ判断。トータル配置数は総務部として調整」との姿勢にとどまったことから、財政ありきではなく実態踏まえた配置を重ねて求めた。

④超勤課題は「12月補正で増額、所要額を最終精査中」としたことから、各職場の実情に即した増配分を強く求めた。

専門職の処遇改善、不妊治療休暇取得に向けた職場の理解醸成対策の実施も訴えた。

回答は表面的な改善姿勢に終始し、納得できる回答とは程遠い。当局の「空手形」は許されない。総務部長交渉（11月5日）で納得いく改善回答を強く求めた（交渉結果は裏面）。

1 一時金・職員の勤務意欲策 ⇒引下げ譲らず・勤勉「コロナ枠」新設／一層の改善策を

(人事課長) 他県動向を踏まえ、勧告通り引下げ方向。コロナ対策に中心的役割を担った職員に配慮し、一般枠に加え、勤勉手当の上位区分枠(「コロナ枠」)を適用。



コロナ従事者全員に配慮を(佐藤拓中執)

(県職労) コロナ対策に奮闘する職員への配慮は理解する。保健師等の専門職に加えて後方支援している事務職員をはじめ十分に配分できるよう求める。運用面でも不公平が生じないようにすべき。これだけでは全職員に行き渡らず賃金引下げ分を回復できない、一層の改善策を求める。

(人事課長) 予算枠の限度はあるが、本庁、振興局の担当部署をはじめ、業務支援で応援を出した部局にも最大限配慮。

2 会計年度任用職員の一時金 ⇒引下げに固執／低賃金の実態突き付け、再考求める

(人事課長) 会計年度任用職員の期末手当は常勤職員に準じる改定が必要(平行線)。

(県職労) 低賃金に加え、勤勉手当不支給の状況を踏まえ、引き下げは断固反対。納得できないとの当事者の声が多数寄せられており、今年度在籍者は特に深刻、再考を。

(人事課長) 意見を踏まえ検討をし、その結果は次回の総務部長交渉時に示す。

3 専門職種処遇改善 ⇒薬剤師など他職種の改善も早期具体化を

(人事課長) 獣医師は東北最上位クラスとなるよう初任給調整手当の改定を検討。その他職種は給与決定の諸原則を踏まえ検討(薬剤師など他職種への具体改善回答なし)。

(県職労) 薬剤師も獣医師と同じ専門業務に従事、具体化を。その他職種も改善を。

4 休暇制度 ⇒不妊治療への理解醸成・プライバシー保護を

(県職労) 不妊治療を職場で打ち明けることにためらいも。上司をはじめ職場の理解醸成の対策を。プライバシーが守られるのか心配も。安心して取得できる環境整備を。

(人事課長) 所属長をはじめ職場での配慮、プライバシー保護に向け注意喚起していく。

5 人員確保策(会計年度任用職員含む) ⇒職場実態踏まえた人員確保・予算措置を

(人事課長) 人員確保はあらゆる方策で継続して取り組む(任期付き職員の任期の定めのない職員の選考採用も継続を確認)。会計年度任用職員の任用数は、一般行政経費分は必要数を人事課で適切に判断。財政課の予算調製を経るが、トータルの調整は総務部として判断。制度運用面で不適切な場合は関係部署に申し入れる。

(県職労) 人員配置はしっかり行うべき。土木など会計年度任用職員の任用減の話も出始めており、運転技士削減の懸念も。財政ありきではなく、業務に応じた職員配置に改善すべき。



現場踏まえた会計年度職員配置を(菊池勉中執)

6 超過勤務課題 ⇒12月補正での超勤予算増へ・各職場に十分な配分を

(人事課長) 超勤予算は12月補正で増額予定、所要額を最終精査中。配分に努める。

(県職労) 各職場に対して超勤予算の十分な配分を、さらに人事課が中心となり各部署に対する所要額の確認とそれを踏まえた随時配分を丁寧に行ってほしい。